

令和 7 年度 第 2 回恵庭市地域公共交通活性化協議会 会議録
(事務局：生活環境部生活環境課)

1. 開催日時 令和 7 年 6 月 30 日（月） 午後 3 時 00 分～午後 3 時 45 分

2. 開催場所 市民会館 2 階 大会議室

3. 出席者等

出席者： 中出 雅也、佐藤 英樹、杉村 勝彦、藤吉 丈伸、笹森 慎太郎
土田 裕司、金田一 秀美、小林 愛、鈴田 華江、佐々木 正博
山下 洋子、亀石 和代、横道 義孝、野村 孝治（敬称略）

欠席者： 島田 圭一、高橋 国広、井元 秀樹、高橋 英雄、竹内 春実
新山 禎男、望月 伸一、山下 主税（敬称略）

随行者： 1 名

傍聴者： 1 名

事務局： 茅野 寿也（生活環境部長）、狩野 志帆（生活環境部次長）
桑原 一徳（生活環境課長）、浜野 晋輔（同主査）、大西 隆行（同主査）
齋藤 佳子（同職員）

4. 協議会の経過

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 題

『報告 第 1 号 令和 6 年度歳入歳出決算報告』

『報告 第 2 号 令和 6 年度監査報告』

－事務局から資料に基づき報告－

－質疑なく了承－

『報告 第 3 号 令和 6・7 年度の利用状況（エコバス・エコタク）』

『報告 第 4 号 新規路線バス停位置の決定について（恵み野西 6 丁目）』

『報告 第 5 号 エコバス乗継対象停留所の追加について』

『報告 第 6 号 エコバス定期券の対象者拡大について』

－事務局から資料に基づき報告－

A 委員)『報告 第 3 号 令和 6・7 年度の利用状況（エコバス・エコタク）』について、事務局より利用者人数が昨年度と比較して増えているというご説明でしたが、増えている要因について伺います。それに伴って、便数を増やした等の事業計画の変更

があったのか併せてお伺いします。

事務局) 増加要因については、はっきりコレだという理由は現段階ではわかっていませんが、本市では住宅地が増えているため、駅から遠い方のエコバス利用が増えていることが、一つの要因と考えているところです。便数を増やす等の事業計画の変更については、行っていません。

A 委員) わかりました。増加要因が何かという点において要因を踏まえて予算やパワーを注ぐべきだと思いますが、調査をすることはできるものですか。

事務局) 調査については、9月からはじまる新規路線の試験運行と既存路線のダイヤ改正がスタートします。その後、分析を行いダイヤやルートの変更など状況に応じて進めていきたいと考えています。5年に1度、地域公共交通計画を見直しますので、アンケートやOD調査などを行って状況に応じて対応していきます。

ーその他、質疑なく了承ー

『議案 第1号 令和7年度事業計画(案)』

『議案 第2号 令和7年度歳入歳出予算(案)』

ー事務局から資料に基づき議案説明ー

ー異議なく決定ー

『議案 第3号 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)』

『議案 第4号 バスマップ(時刻表・路線図)の作成について』

ー『議案 第3号 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)』については、2点修正ある旨説明。1点目は、22ページの表2の「現状 令和6年度」のJR島松駅(JR恵庭駅西口)Bコースに記載の利用人数について、110,504人と記載されていますが、正しくは、167,791人となる。2点目は、25ページの6に記載の、2の目標・効果の評価手法及び測定方法について、該当なしと記載していますが、正しくは恵庭市地域公共交通計画87ページに記載されているようにPDCAサイクルに基づき当協議会において評価していく旨の記載に修正する。その他、事務局から資料に基づき説明ー

B 委員) 事務局の説明の補足ですが、『議案 第3号 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)』について、今後札幌運輸支局に提出されることになるが、軽微な修正等が発生する場合は、事務局と直接連絡を取り合いながら作業していく点をご了承いただきたいと思います。

－異議なく決定－

(4) その他

－特になし－

5. 閉 会 午後 3 時 45 分終了



以 上